

調査目的

土山駅南口を起終点とする路線バスを対象とした利用実態調査を実施

- 【目的】1)路線別・バス停別・時間帯別・基本属性別の利用状況
 2)通勤・通学及び自由目的（買物・通院など）への需要状況の把握
 3)路線バスと鉄道駅との乗継利用状況の把握

調査概要

対象：土山駅南口を起終点とする路線バスの利用者

日時：令和5年7月11日(火)（一部の便は令和5年7月12日(水)に実施）

方法：対象路線の全便に調査員が乗り込み、バス利用者への調査票配布・回収による全数把握調査

調査項目：利用者属性、運賃の支払い方法、他交通への乗り継ぎ、バス停間OD 等



利用者数

- 全体の利用者数は645人。新島循環の利用者が439人で多く、1便あたり15.7人
- 加古川駅行、医療センター行は1便あたり6～9人

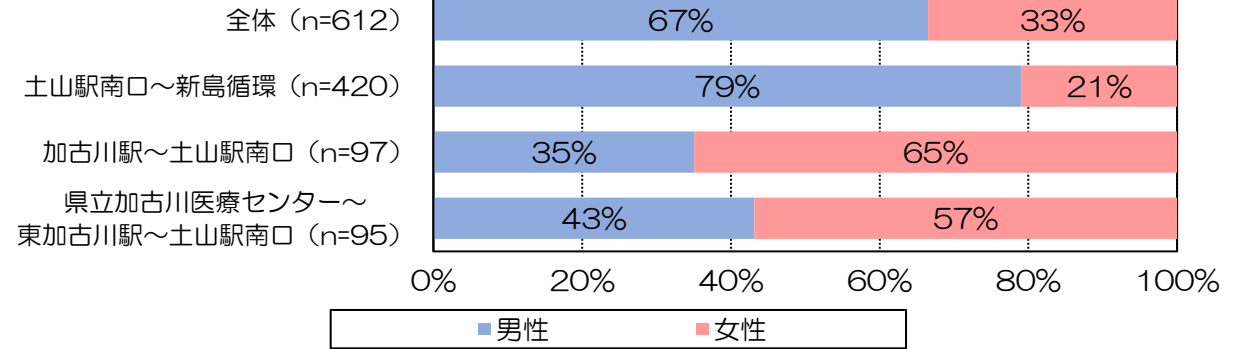
(利用者数)

路線	行き先	利用者数 (人/日)	1便平均 (人/便)	1日運行便数 (便/日)
土山駅南口～新島循環	新島中央公園前方面	439	15.7	28
加古川駅～土山駅南口	加古川駅方面	45	6.4	7
	土山駅南口方面	52	6.5	8
県立加古川医療センター～東加古川駅～土山駅南口	県立加古川医療センター方面	62	8.9	7
	土山駅南口方面	37	7.4	5
合計		635	-	-

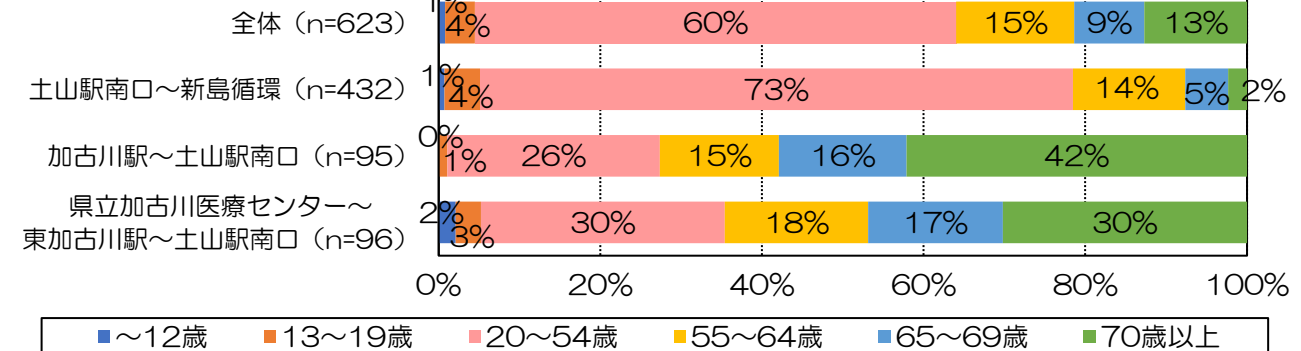
利用者属性

- 新島循環：男性の利用者が多く、20～54歳で町外居住者の利用が多い
- 加古川駅行：女性の利用者が多く、65歳以上の高齢者が加古川市民の利用が多い
- 医療センター行：男女同程度であり、65歳以上の高齢者が町民、加古川市民の利用が多い

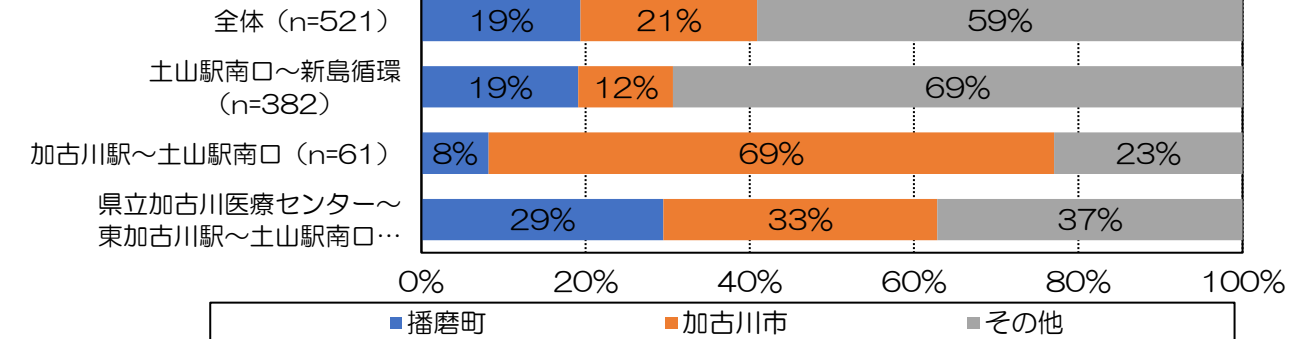
(性別)



(年齢)



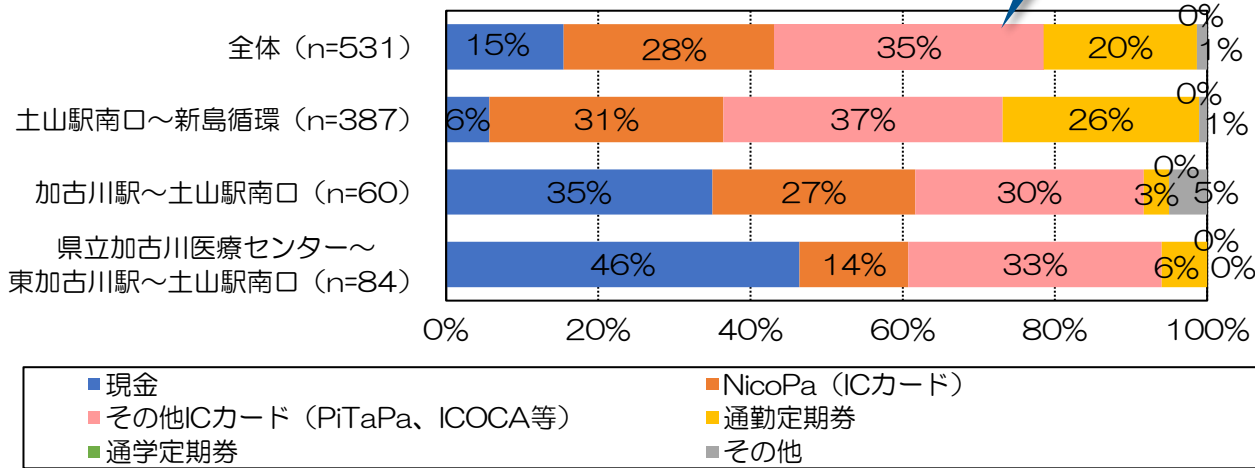
(お住まいの地域)



運賃の支払い方法

- 新島循環：その他ICカード、NicoPa、通勤定期券の順で利用者が多い
- 加古川駅行：現金、その他ICカード、NicoPaの順で利用者が多い
- 医療センター行：現金、その他ICカードの順で利用者が多い

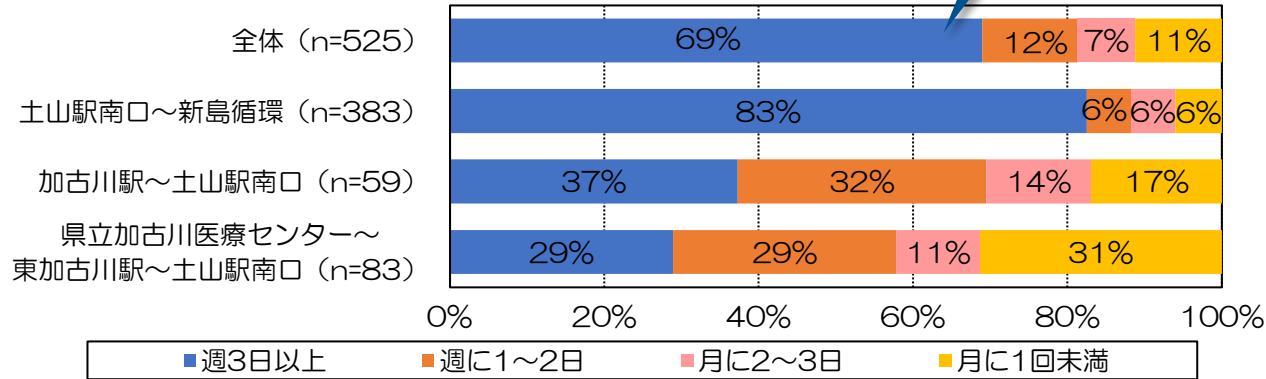
新島循環はICカード利用、町外路線は現金利用が多い



バスの利用頻度

- 新島循環：週3日以上の利用者が8割超で多い
- 加古川駅行：週1日以上の利用者が約7割を占めている
- 医療センター行：週1日以上の利用者が約6割を占めている

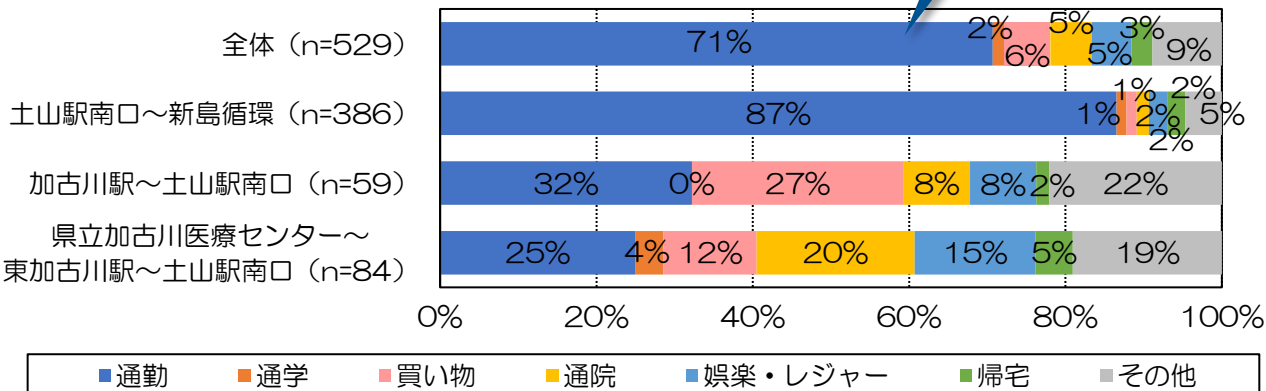
新島循環は週3日以上、町外路線は週1日以上利用の傾向



バスの利用目的

- 新島循環：通勤目的が約9割を占める
- 加古川駅行：通勤、買物、その他の順に多い
- 医療センター行：通勤、通院、その他の順に多い

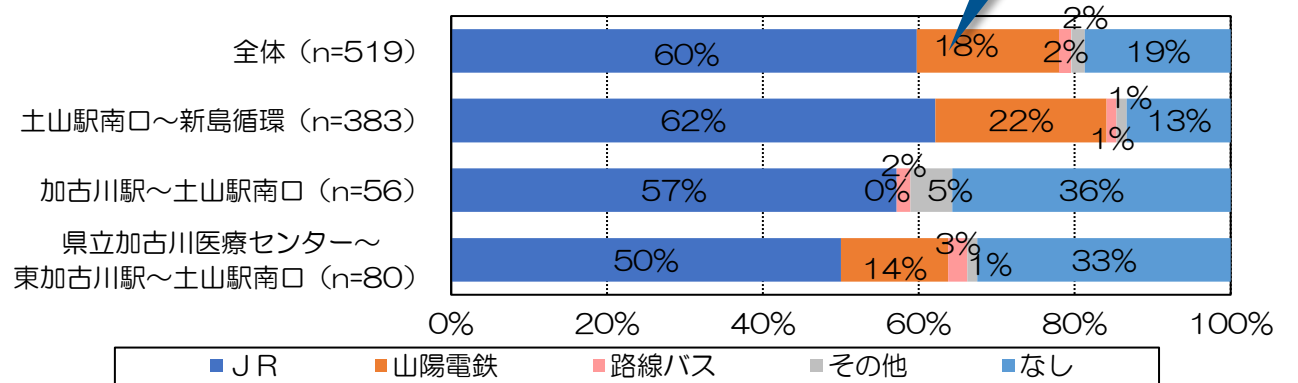
新島循環は通勤目的が多く、加古川行は買物、医療センター行は通院で利用される傾向



他の交通への乗り継ぎ

- 新島循環：JRへの乗り継ぎが約6割で最も多く、山陽電鉄との乗り継ぎもみられる
- 加古川駅行：JRへの乗り継ぎが約6割で最も多く、乗り継ぎしない人は4割程度である
- 医療センター行：JRへの乗り継ぎが約5割で最も多く、乗り継ぎしない人は3割程度である

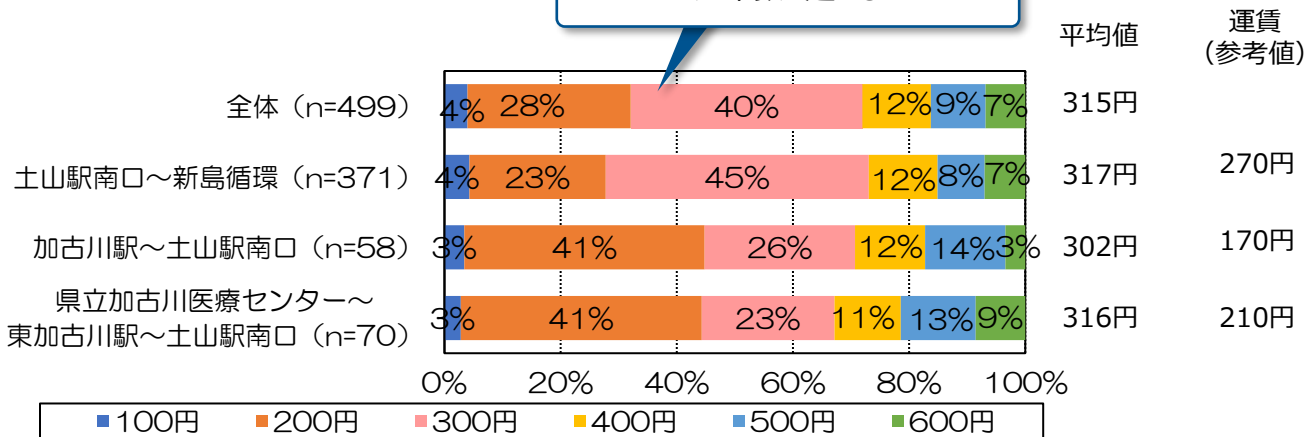
どのバスもJR乗り継ぎが多く、新島循環は山陽電鉄との乗り継ぎもみられる



バスの運賃支払許容額

- 新島循環：300円と回答した人が45%で最も多く、回答の平均値は317円
- 加古川駅行：200円と回答した人が41%で最も多く、回答の平均値は302円
- 医療センター行：200円と回答した人が41%で最も多く、回答の平均値は316円である

どの路線も支払い許容額300円で過半数を超える

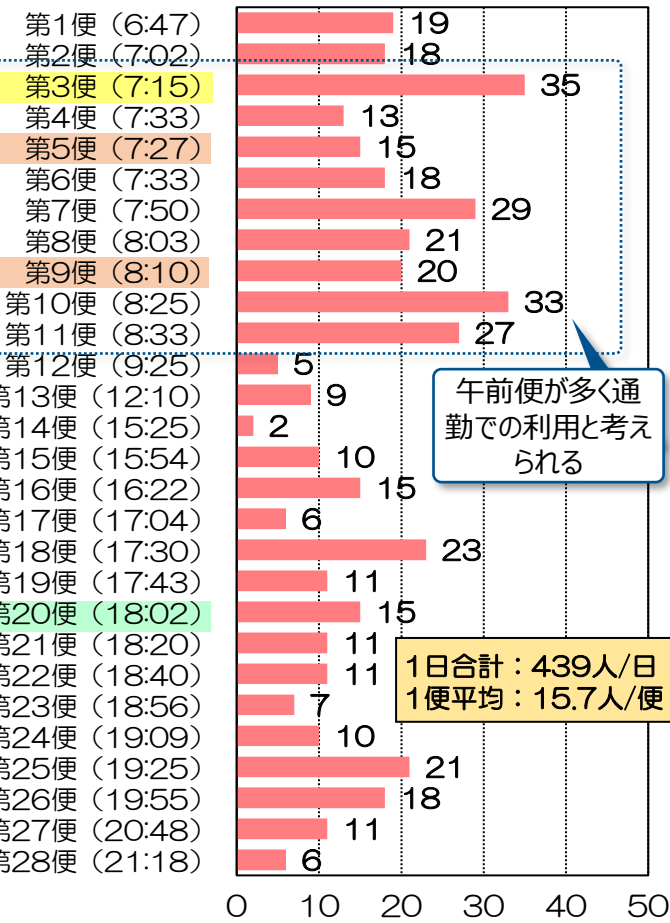


※参考値
 土山駅南口～新島循環：土山駅南口～神鋼環境ソリューション前
 加古川駅～土山駅南口：土山駅南口～城の宮
 県立加古川医療センター～東加古川駅～土山駅南口：土山駅南口～播磨町役場前

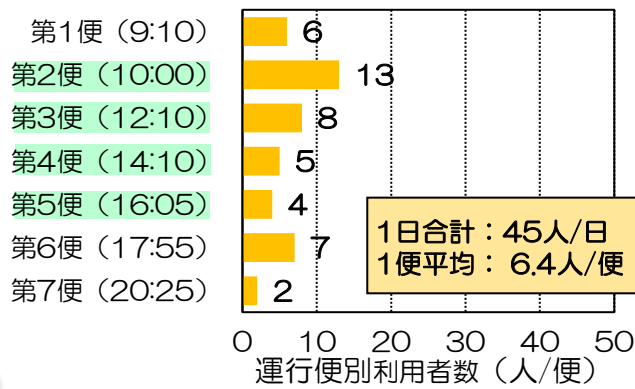
運行便別利用者数

- 新島循環：第3便(7:15) が最も多く、全体的に7～8時台の利用者が多い
- 加古川駅行：加古川駅方面は第2便(10:00)、土山駅南口方面は第4便(11:30)が最も多く、お昼前後や夕方の便で利用者が多い

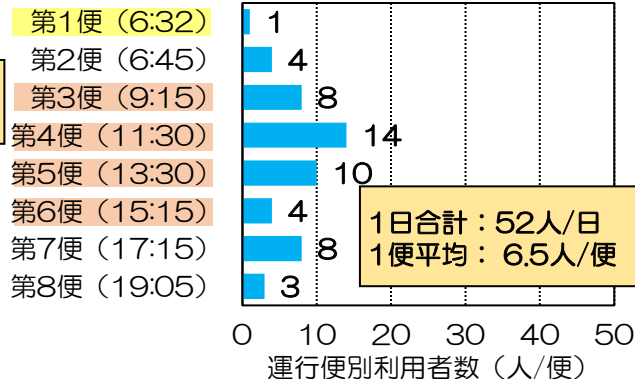
(土山駅南口～新島循環)



(加古川駅～土山駅南口 加古川駅方面)

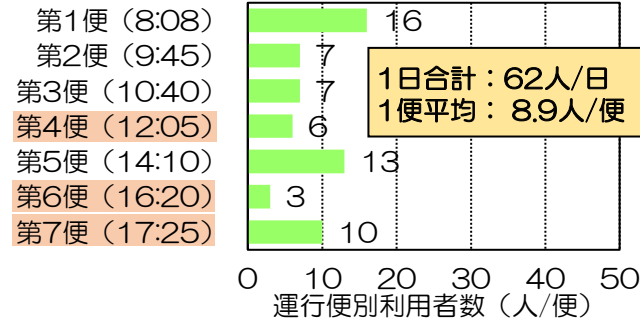


(加古川駅～土山駅南口 土山駅南口方面)

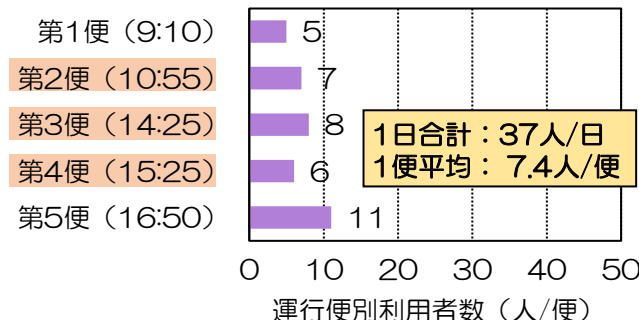


- 医療センター行：県立加古川医療センター方面は始発便の第1便(8:08)、土山駅南口方面は最終便の第5便(16:50)が最も多い

(県立加古川医療センター～東加古川駅～土山駅南口 県立加古川医療センター方面)



(県立加古川医療センター～東加古川駅～土山駅南口 土山駅南口方面)



：土山駅南口 発 東加古川駅 着
※無着色は土山駅南口 発 県立加古川医療センター 着
※時刻は発車時刻を示す。

：県立加古川医療センター 発 土山駅南口 着
※無着色は東加古川駅 発 土山駅南口 着
※時刻は発車時刻を示す。

停留所別乗降人数 (上位5停留所)

- 新島循環：山駅南口の利用者が314人で最も多く、次いで神鋼環境ソリューション前、新島中央公園前が多い
- 加古川駅行：加古川駅の利用者が44人で最も多く、次いで土山駅南口、イオン加古川前が多い
- 医療センター行：土山駅南口の利用者が32人で最も多く、次いで東加古川駅、別府駅が多い

順位	土山駅南口～新島循環		加古川駅～土山駅南口		県立加古川医療センター～東加古川駅～土山駅南口	
	停留所	乗降人数	停留所	乗降人数	停留所	乗降人数
1	土山駅南口	314	加古川駅	44	土山駅南口	32
2	神鋼環境ソリューション前	142	土山駅南口	27	東加古川駅	31
3	新島中央公園前	99	イオン加古川前	23	別府駅 (兵庫県)	23
4	播磨町役場前	86	野口 (加古川市)	20	播磨町役場前	15
5	播磨町駅	56	城の宮	15	北本荘、別府駅東	14

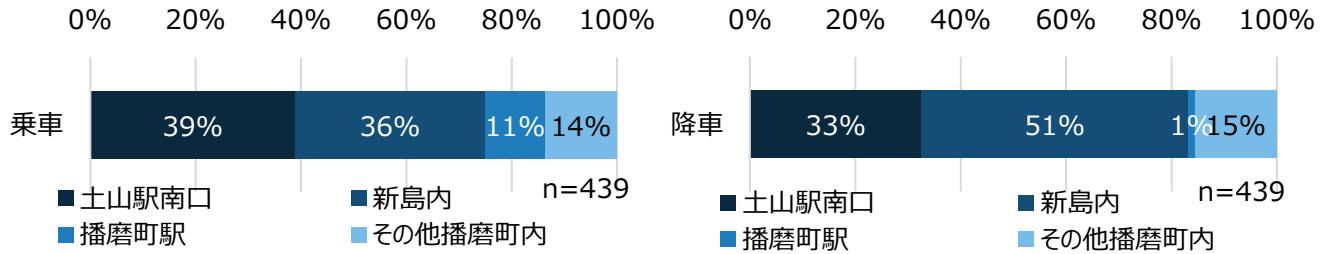
：播磨町駅経由 新島中央公園前方面
：新島中央公園前経由・播磨町駅
：新島中央公園前経由・土山駅南口
：新島中央公園経由 播磨町駅・土山駅南口
※無着色は新島中央公園前 方面
※時刻は発車時刻を示す。

：東加古川 (国道側) 発 土山駅南口 着
：東加古川駅経由 土山駅南口 着
※無着色は加古川駅 発 土山駅南口 着
※時刻は発車時刻を示す。

エリア別乗降割合

- 新島循環：土山駅南口と新島を起終点としたトリップが約6割
- 加古川駅行：駅を除いた加古川市内を起終点としたトリップが多く、播磨町内でのトリップは21%程度、内外・外内トリップは27%であり、約5割が播磨町内を起終点としたトリップ
- 医療センター行：播磨町内からの乗車に対して降車の割合が少なく、加古川市内方面への片道利用が多い。播磨町内のトリップは33%程度、内外・外内トリップは23%であり、約6割が播磨町内を起終点としたトリップ

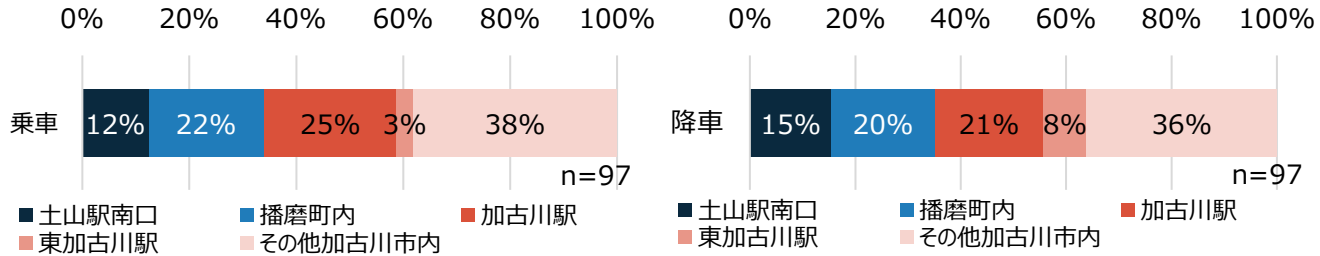
(土山駅南口～新島循環)



乗車バス停	降車バス停	土山駅南口	新島内	播磨町駅	その他播磨町内	計
土山駅南口	-	140	1	30	171	
新島内	115	1	5	37	158	
播磨町駅		50	-		50	
その他播磨町内	28	31		1	60	
計		143	222	6	68	439

乗車バス停	降車バス停	土山駅南口	新島内	播磨町駅	その他播磨町内	計
土山駅南口	-	32%	0%	7%	39%	
新島内	26%	0%	1%	8%	36%	
播磨町駅		11%	-		11%	
その他播磨町内	6%	7%	0%	14%		
計		33%	51%	1%	15%	100%

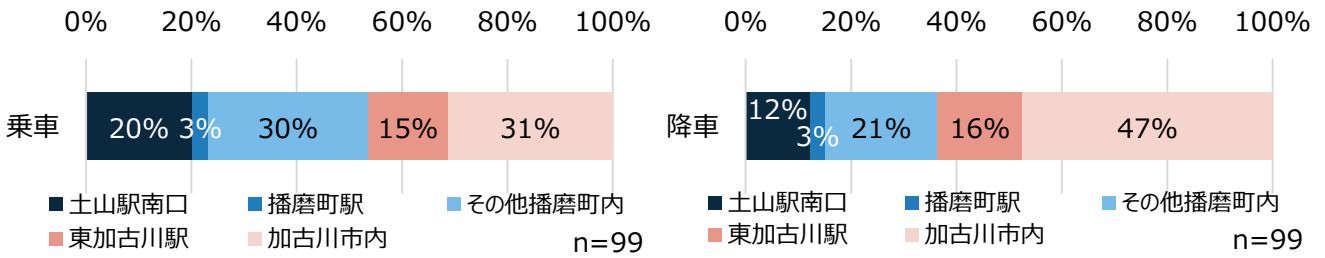
(加古川駅～土山駅南口)



乗車バス停	降車バス停	土山駅南口	播磨町内	加古川駅	東加古川駅	その他加古川市内	計
土山駅南口	-	9	2	1	12		
播磨町内	11	4	3	3	21		
加古川駅	2	7	-	15	24		
東加古川駅	2	1	16	3	37		
その他加古川市内	2	1	16	3	15	37	
計		15	19	20	8	35	97

乗車バス停	降車バス停	土山駅南口	播磨町内	加古川駅	東加古川駅	その他加古川市内	計
土山駅南口	-	21%	13%	34%			
播磨町内	11	4	3	3	21		
加古川駅	2	7	-	15	24		
東加古川駅	2	1	16	3	37		
その他加古川市内	2	1	16	3	15	37	
計		15	19	20	8	35	97

(県立加古川医療センター～東加古川駅～土山駅南口)



乗車バス停	降車バス停	土山駅南口	播磨町駅	その他播磨町内	東加古川駅	加古川市内	計
土山駅南口	-	3	12	5	20		
播磨町駅	1	-	1	1	3		
その他播磨町内	9		8	5	30		
東加古川駅				-	15	15	
加古川市内	2		1	10	18	31	
計		12	3	21	16	47	99

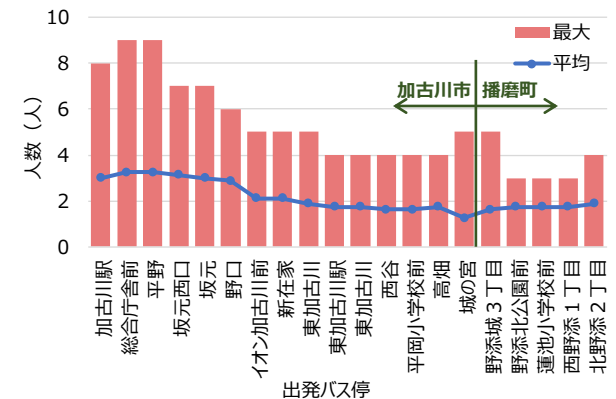
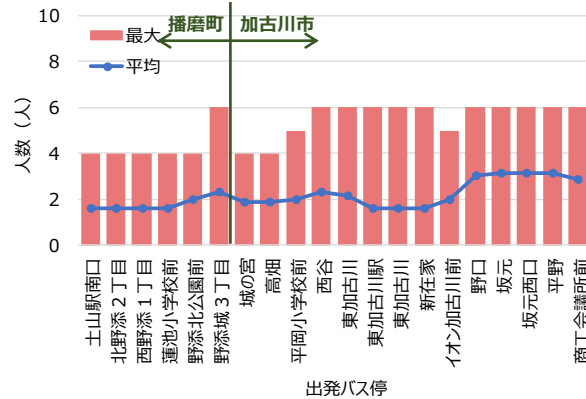
乗車バス停	降車バス停	土山駅南口	播磨町駅	その他播磨町内	東加古川駅	加古川市内	計
土山駅南口	-	33%	20%	54%			
播磨町駅		33%			20%	54%	
その他播磨町内							
東加古川駅		3%	43%	46%			
加古川市内			36%	64%	100%		
計		36%	64%	100%			

各区间乗車人数

● 播磨町と加古川市を結ぶ加古川駅行および医療センター行について、各区间でバス車内に乗車している人数を算出

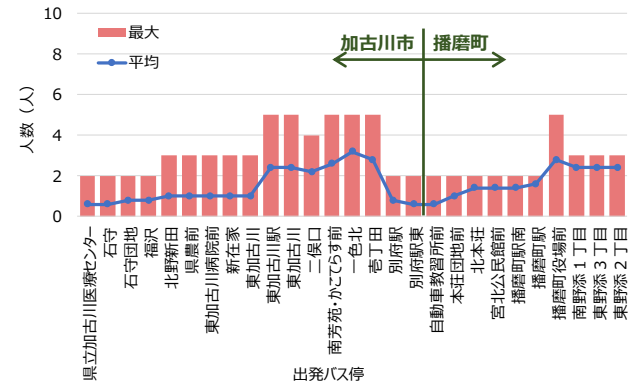
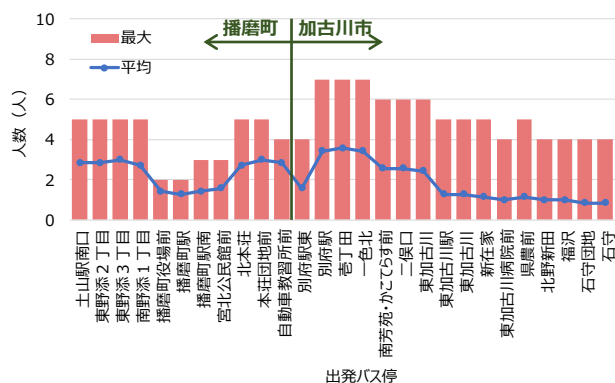
(土山駅南口～加古川駅)

・各区间、全便平均で2～4人程度、最大で9人が乗車した。加古川市内での乗車人数が多い。



(土山駅南口～東加古川駅～県立加古川医療センター)

・各区间、全便平均で1～4人程度、最大で7人が乗車した。土山駅南口～播磨町役場前、別府駅～東加古川駅で乗車人数が多く、東加古川駅～県立加古川医療センターは乗車人数が少ない。



バス利用実態調査結果概要

新島循環（土山駅南口～新島循環）

<調査結果>

- 1日の利用者数は439人、1便あたりは15.7人で他路線に比べ利用者が多い
- 利用者は男性、20～54歳、町外在住の利用者が多い。通勤目的の利用者が最も多く、新島へ通勤する利用者が多い
- 通勤利用が多いことから、バスの利用頻度は週3日以上の利用者が約8割
- お昼前後や夕方の便で利用者が多い。土山駅南口、神鋼環境ソリューション前、新島中央公園前で乗降人数が多い
- 移動実態は、土山駅南口と新島を起終点としたトリップが約6割を占める

<路線の特徴>

- 通勤時間帯（7時～9時）は、土山駅南口から新島への通勤目的のトリップを結ぶ役割を担っている
 - 昼間は、利用者は少ないが、土山駅南口と播磨町役場前をはじめ、拠点と公共施設を結ぶ役割を担っている
- ⇒**新島への通勤需要及び鉄道駅と役場間のアクセスを担う路線**

加古川駅行（加古川駅～土山駅南口）

<調査結果>

- 1日の利用者数は加古川駅方面が45人(6.4人/便)、土山駅南口方面が52人(6.5人/便)
- 利用者は女性、65歳以上の高齢者、加古川市民の利用者が多い。通勤や買物目的の利用者が多い
- バスの利用頻度は週1日以上の利用者が約7割
- お昼前後や夕方の便で利用者が多い。加古川駅、土山駅南口、イオン加古川前で乗降人数が多い
- 移動実態は、駅を除いた加古川市内を起終点としたトリップが多く、播磨町の内内トリップは21%程度、内外・外内トリップは27%であり、約8割が加古川市内を起終点としたトリップ
- 各区間で、バス車内に乗車している人数は平均2～4人程度であり、加古川市内の区間で多い

<路線の特徴>

- 通勤や、高齢者を中心とした買い物等の日常利用を目的としたトリップを担っている
 - 播磨町内の移動や、町域を跨ぐ移動は全体の約5割を占める路線
- ⇒**通勤をはじめ、高齢者の買い物等の多様な利用ニーズと広域の移動を担う路線**

医療センター行（県立加古川医療センター～東加古川駅～土山駅南口）

<調査結果>

- 1日の利用者数は県立加古川医療センター方面が62人(8.9人/便)、土山駅南口方面が37人(7.4人/便)
- 利用者は女性、65歳以上の高齢者が多い。居住地は、播磨町、加古川市、その他いずれも同程度の割合。通勤や通院目的の利用者が多い
- バスの利用頻度は週1日以上の利用者が約6割
- 県立加古川医療センター方面は始発便、土山駅南口方面は最終便の利用者が多い。土山駅南口、東加古川駅、別府駅で乗降人数が多い
- 移動実態は県立加古川医療センター～東加古川駅～土山駅南口は、播磨町内からの乗車に対して降車の割合が少なく、加古川市内方面への片道利用が多い。播磨町の内内トリップは21%程度、内外・外内トリップは23%であり、約7割が加古川市内を起終点としたトリップ
- 各区間で、バス車内に乗車している人数は平均1～4人程度であり、駅や役場等の拠点間で多いが、東加古川駅から県立加古川医療センターでは乗車人数が少ない

<路線の特徴>

- 通勤や、高齢者を中心とした買い物・通院利用が多くを占め、土山駅南口と播磨町役場前間などの拠点と公共施設を結ぶ役割を担っている
 - 播磨町内の移動や、町域を跨ぐ移動は全体の約6割を占める路線
- ⇒**通勤をはじめ、高齢者の買い物や通院等の多様な利用ニーズと広域の移動を担う路線**